

「だんないで子育てフェスタ」の報告

1. 目的

近江八幡市子ども・子育て支援事業計画に沿って、すべての子どもの健やかな育ちと子育てを支援し、「子どもの最善の利益」が実現されるまちをめざし、子育て不安の解消や地域の繋がりを醸成を図るため、『だんないで子育てフェスタ』を実施する。

2. 日時・会場 平成28年8月27日（土）午前9時30分～午後3時
総合福祉センター「ひまわり館」

3. 対象 妊娠期～子育て中の親子、子育てに関心のある方

4. 目標と企画

目標1 食・歯に関する相談等に応じ、子育ての不安を解消

- ・妊産じょく期の相談「妊娠、出産、授乳、子育てのことなど」（助産師）
- ・歯科相談「虫歯予防と歯磨きのコツ」（歯科衛生士）
- ・食の相談「離乳食・子どもの食生活の疑問や悩み」（管理栄養士）
- ・子育ての相談「子育て世代包括支援センターって!？」（利用者支援員）
- ・減塩味噌汁の試食
- ・親子でクッキング「保育園のおやつを作ってみよう!」

目標2 親子が子育て支援の団体を知るとともに、支援団体の繋がりを醸成

- ・まちづくり協議会等の子育て支援団体のポスター展示
- ・親子であそぼ！（近江八幡子育てネットワーク）
- ・ファミリーサポートセンターの案内
- ・幼稚園の先生と一緒に遊ぼう！
- ・親子で体験工房「手形アート、おもちゃづくり」

目標3 仕事と子育ての両立実現を啓発（特に、父親・母親が共に子育てをする意識醸成）

- ・講座／マタニティマッサージ & 林バオイルでベビーマッサージ「仲良く見守る子育てが大事」
- ・講座／パパならではの実践「パパ力アップで子育てがもっと楽しくなる♪」
- ・体験！地域型保育って、どんなところ？（小規模保育3カ所、家庭的保育2カ所）
- ・保育施設入所相談
- ・地域型保育所のブース紹介（小規模保育4カ所、家庭的保育2カ所）
- ・パパ、ママへのひと言ボード
- ・結婚・子育て映像（地域少子化対策強化事業の成果物）の放映
- ・妊婦体験「体験ジャケットを着てみよう」

5. 報告

(1) 来場者数（玄関前受付の記録）

組数130組 / 大人170人（祖父母8人、父38人）、子ども173人

(2) 各ブースでの受付数

AM	PM	企画名	組数	※参考値	
				大人	子ども
●		妊産じょく期の相談（助産師）	5組	5人	5人
	●	歯科相談（歯科衛生士）	10組	10人	12人
●		食の相談（管理栄養士）	12組	13人	16人
●	●	子育て相談（利用者支援員）	6組	8人	9人
	●	親子でクッキング 「保育園のおやつを作ってみよう！」	5組 (予約4組)	6人	7人
●	●	親子であそぼ（近江八幡子育てネットワーク） 「ソフトブロック、おもちゃづくり」	70組	75人	104人
●		ファミリーサポートセンターの案内	6組	6人	6人
	●	親子で体験工房 「手形アート、おもちゃづくり」	46組	64人	72人
●		マタニティヘルスマッサージ & 林ハオイルでベビーマッサージ 「仲良く見守る子育てが大事」	20組 (予約15組)	30人	20人
	●	パパならではの実践「パパ力アップで子育てがもっと楽しくなる♪」	9組 (予約4組)	13人	10人
●	●	妊婦体験「体験ジャケットの試着」	11組	15人	11人

(3) アンケートの結果（回収数120枚）

① 在住区域

市内 114人	八幡 21、島 0、沖島 0、岡山 11、金田 39、桐原 23、 馬淵 0、北里 4、武佐 5、安土 9、老蘇 1、不明 1
県内 2人	県外 1人 不明 3人

② 来場者（アンケート回答者）の家族構成

大人 170人	<参考：祖父母 4、父 28、母 57>
子ども 164人	

③ フェスタ情報を得た媒体

（複数回答）

市広報紙「8月号」(29)	チラシ (71)	口コミ (20)	ホームページ (2)
タウンメール (1)	フェイスブック (1)		

④参加したイベント

(複数回答)

1. マタニティ&ベビーマッサージ「仲良く見守る子育てが大事」(20)
2. 地域型保育体験 ①うたってあそぼう(52) ②リズム体操(51) ③大型絵本(52)
④英語であそぼう(42)
3. パパならではの実践「パパカアップで子育てがもっと楽しくなる♪」(6)
4. 幼稚園の先生と一緒に遊ぼう!(13) 5. 親子であそぼ(8) 6. 展示(9)
7. 親子で体験工房(26) 8. ファミリーサポートセンターの案内(4)
9. 相談 ①妊産じょく期(2) ②歯科(7) ③離乳食等(9) ④子育て(1)
10. 保育施設入所相談(12) 11. 地域型保育所の紹介 ①あいアイランド(10)
②サンフレンズ保育園(7) ③ニチイキッズ保育園(7) ④さくらの樹保育園(5)
⑤はっちぽっち(8) ⑥しんあい(5) 12. 妊婦体験(0) 15. 減塩味噌汁(27)
16. 親子クッキング(4)

⑤来年も同じようなフェスタがあれば、また来たいか。

来たい(114)	普段と違う体験・遊び・制作(手形アート)などに高評価。 一度に色んな体験ができて良かった。親子ともに楽しかった。 保育施設や子育て支援について知ることができた。 気軽に相談できる場、聞ける場であった。
来たくない(3)	企画を目指して来たのに、知りたい情報を得られなかった。 子育ての講演会があれば良かった。 人が多くて場所が狭い。

⑥本市の子ども子育て支援に関する自由記載

保育園の増設・施設改修、保育料の減額、幼稚園での延長保育に対する意見。
子どもセンター等の充実(行事日程、昼食、遊具、土日開館)に関する意見。
子どもと遊べる場(就園児も遊べる場)、一時預かり、公園、プール、噴水広場の充実。
このようなフェスタ、楽しい体験・企画、父親との体験、交流の場、リフレッシュ希望。
その他、子どもの発達相談の周知、再就職支援、健診時間の改善、学区・町会の確認等。

(4) 当日の様子(写真)



▲助産師による講座



▲地域型保育所による体験



▲講座 パパならではの実践



▲幼稚園の先生と遊ぼう！



▲親子であそぼ(子育てネットワーク)



▲ファミリーサポートセンターの案内



▲保育施設への入所相談



▲地域型保育所のブース紹介



▲親子で体験工房



▲親子クッキング



▲減塩味噌汁の試食



▲妊婦体験ジャケット



▲子育て支援のポスター展示



▲各種相談



▲会場の様子

6. フェスタ後の所見

- ・100組の来場目標に対し、当日は、祖父母を含む130組の親子に来場をいただき、大半の方から「来年も来たい」との評価をいただいた。また、会場受付の報告からは、来場された世帯の4分の1程度は父親も一緒に参加されたことが伺え、一定程度、父親へも子育てへの意識醸成ができたものと考えられる。

- ・通常土曜日は開館している子どもセンターを閉館して「フェスタ」に注力したため、日々の利用者以外の親子にも多様な機会を提供できた。その結果、普段とは違う体験や製作ができたことに高い評価の感想をいただけた。
- ・子どもセンターなどの取り組みはもちろん、地域の子育て支援や、地域型保育などの新たな取り組みについても、多数の親子に対して、一度に紹介できる機会としては、有意義なイベントであった。来年度以降も、親子のニーズを汲み取った企画を混ぜつつ、広く周知すべきこと、啓発すべきこと、地域連携の視点を組み込んだイベントを行うことは有意義であると想定される。
- ・情報の入手については、チラシが多数を占める中、口コミによる情報伝達が市広報紙と同等数みられる。複数選択の回答項目にも関わらず、ホームページ、タウンメール、フェイスブックなどの選択は少なく、IT技術を活用した情報伝達については、まだまだ主力となっていないと考えられる。今後、利用者の増加や発信回数、発信方法の工夫など、さらなる改善が必要と思われる。
- ・今回は、市の関係機関へのチラシ配布が主な広報だったが、「もっと広く告知してはどうか」との感想もあり、民間の事業者を含む、多様な場でのチラシやポスターによる広報も検討すべきと考えられる。